

# PTAだより

第76号

平成23年10月1日発行  
市P連広報委員会

印刷：有限会社 齊藤印刷



## 『自らの心を耕す！』

### 『未来の宝のために』

小松市立学校PTA連合会

会長 鹿田 稔夫

皆様には、日頃よりPTA活動に多大なるご支援・ご協力を賜り心から感謝御礼を申し上げます。

ここ数年、人の倫理観さえも疑わせるような報道が日々増え続けていますが、一番悲しいことはそのほとんどの事件に、被害者、または加害者として子ども達が関わっていることです。経済の変化に伴い、生活環境についても比較のしようがないほど変化しています。現代の子ども達にとっては、生きることそのものが困難のように感じます。経済対応型の教育をする前に、まず人としての心を育てることが必要だと思えます。そのためには、家庭だけでなく、あるいは学校だけでもなく、地域の大人達すべてが、みんな自分達の子どもであり未来の宝なんだという認識のもと、子ども達にもっと目を向け、声をかけ、褒めながら、自分達自身が手本となる背中を見せ共に生きることが大事であると考

えます。

では「自らの心を耕す！」未来の宝のためにを主題とし、家庭教育や地域で子ども達を育てる社会教育のさらなる充実に向けての様々な活動を行っています。また子ども達に基本的な生活習慣や規範意識などを身に付けようという「早寝早起き朝ごはん運動」や大人が変われば子どもも変わるを展開しています。この運動を地域全体で推進するために11月23日（水・祝）には、甲子園でお馴染みの智辯和歌山高校野球部を率いる高嶋仁監督をお迎えし、小松市民大会を開催いたします。この大会を機にさらに市民運動として広がり、我が子だけでなく、地域の中で子ども達を見守り育てていくことを期待しています。是非ご家族皆様までご参加ください。

まずは自分の心を耕し、大人、親としての振る舞いに立ち返る、そんな姿を見せることが子ども達の希望へと変わっていくと思えます。これからは笑顔で元気に活動しましょう。



## 『つばやき』

小松市立学校PTA連合会

顧問 西出 稔

PTAを通じてぜひぶんいんなことを学んだ。

- 社会の役に立つ人になる（感謝の心）
- 自分で考える事ができる人間（応用力）
- 志を持って学ぶ（理念と志）
- 大人になっても勉強できる人間（生涯学習）

自分の子どもとこんなことを話し合った事は無いが、「早寝」の運動で毎朝一緒に食事をすることで少しは伝わっていると勝手に信じている。ケータイを子どもから遠ざけようと必死になり、子ども達の環境に右往左往しながら、どのように子どもと接し、どう育てればいいのかと悩み、あれやこれやと試してきたが、世の中はどんどん進化し、子どもは親を尻目に勝手に大きくなって行く。言い忘れたことや、後悔することもいっぱいあり、子育てに後戻りできないことを痛感している。

先日サンダーバードの電車の中で、母親が子どもに一冊のノートを渡して、「さっき買ったね。旅行中気付きがあったらこれに書いてね。1つを1ページ使って良いよ」と。子どもは「芦原温泉は福井県」。こういう教育もあるんだなと、今さらながら気付いた。教育とは、家庭の数だけ子どもの数だけあるのでしょうか。何が正しくて、どうしないといけないかは、そのときの親の信念と愛情でしかないのでしょうか。

最近「つぶやく」のもツイッターと言う道具を使うらしい。少しづつ子どもにも教えられたいが、嬉しくも、頼もしくも思う。

# ◆松東中学校

## 研究大会発表を

### 終えて

松東中学校 育友会会長

西口 信明



今回の私たちの研究大会発表のテーマは「勸進帳公演に向けた取り組み」でした。研究発表を意識し始めた頃より松東中の地域性を考えた上で、「小松市地域ぐるみ学校支援推進事業（学校支援ボランティア）」にスポットをあてた発表にしてはどうか？との構想は持っていました。具体的なイメー

ジがなかなか浮かんできませんでした。一方で、昨年度は「勸進帳公演」の当番校が松東中学であり、全校生徒が90名程度の我が校では、公演を行うためには生徒の力だけでなく育友会や地域の方々の支援が是非とも必要であるとお話を学校からいただきました。10年に一度の大きなイベントに際し、育友会がどのような活動を行ったかの記録を残すという意味合いからも、勸進帳公演に対する取り組みを発表したらどうかとの意見が前会長より出され、役員もそれに賛同し、昨年度より実行委員が動き始めました。

おかげさまで勸進帳公演は皆さんの協力で無事成功し、私たちも非常に大きな感動を得ることができました。そのため、発表に対するモチベーションも高く、準備も順調に進んだように思います。

発表当日は思わぬアクシデントがあり冷や汗が出ましたが、関係者の方々のご配慮を頂き、何とかやり遂げることができましたことを、心から感謝いたします。



# PTA研究大会

■日時：平成23年8月7日(日) ■場所：こまつドーム集会室

### □ 小松市教育委員会表彰状

- ・西出 稔
- ・中田 浩大
- ・奥山 裕子



### □ 小松市立学校PTA連合会会長感謝状

- ・西出 稔氏  
前会長



### 〈地域功労賞 個人〉

- ・坂井 隆之氏  
「地域の先生」那谷小学校
- ・荒木 力氏  
「地域の先生」粟津小学校



# ◆安宅小学校

## 研究発表が

### 私達を

### 成長させた

安宅小学校 PTA会長

木田 勝彦

私たち安宅小学校PTAでは「親子で心も体もあつたかコミュニケーション」を研究テーマとし、家庭・学校・地域とのふれ合いから「あつたかな親子のコミュニケーション」が生まれる」という事を証明すべく、各委員会の活動内容その成果・課題についてまとめ上げました。

発表当日に至るまでは試行錯誤の連続で「大変な年に役員になつてしまった。」などと思う事もしばしばありましたが、自分を成長させてくれる良い機会と捉え取り組みました。

自らの受け止め方次第でチャンスに変える事が出来ると思うのです。

チャレンジしようと思う気持ちのない人にはチャンスではなく、たとえチャンスが巡って来ても結

# ◆ 稚松小学校

## やわらかな

## 鏡を支える

稚松小学校 育松会会長

福島 知朗

ハワイのマウナケアに鏡の直径が8メートルもある日本の反射望遠鏡があります。いくら硬い鏡でもこれくらい大きくなると、望遠鏡を傾けるたばに変形し焦点が定まりません。そこで鏡がいつも理想の形となるように261本の機械の指で満遍なく支えているのです。理想の形から外れた箇所は少しでも力を加減して。更に261本もあると調子の悪い指が出てきます。そのときは調子の悪い指の周りの何本かが少しだけ多くがんばります。こんな仕組みで百何十億光年も遠くにある銀河の光を捉えるのです。

お気づきのとおり、PTA活動を大きな鏡、保護者を261本の機械の指、子ども達の未来を百何十億光年も遠くにある銀河にそれぞれなぞらえています。理想の形にするためには全員が理想の形をイメージできないといけないし、また一人だけががんばり過ぎてはいけない。

石川県PTA地区別研究指定発表会

## 第54回

# 小松市

8月7日（日）こまつドームにて第54回小松市PTA研究大会が開催されました。和田市長をはじめたくさんのご来賓の方をお招きして、お互いの活動を報告し合いました。また開会式におきましては、日頃PTA活動や子ども達の健全育成に努められた方々への表彰も行われました。

研究発表では、安宅小学校PTA・稚松小学校育松会・松東中学校育友会の3校が、それぞれの特色を生かした心に響く発表を行いました。

大会後半の講演会では、東京都で義務教育初の民間校長となられた、藤原和博氏をお迎えし、笑いを交えながら情報編集力についてワークショップ形式で楽しく勉強でき、会場の多くの保護者にも大盛況でした。



講師：藤原 和博氏



最後に、私たちPTAが研究発表というチャンスに結果を残す事が出来たのは、役員・先生・父兄の方々のご協力があったからこそと思いい感謝の気持ちで一杯です。チャレンジする姿が子ども達の成長に繋がります、子ども達の成長が親の楽しみになるのです。



果を残す事は出来ないのではないのでしょうか。自らが積極的になる事がチャンスを作り、結果を残す事が出来ると思うのです。チャンスはそう簡単に巡って来るものではなく、自らが仕掛ける事でチャレンジする機会を作り出せるのです。

# 母 親 委 員 会

## 第 1 回 母 親 委 員 会

◆日時 平成 23 年 5 月 27 日(金) 午後 7 時より～ ◆場所 ホテルサンルート小松

平成23年度母親委員会事業計画(案)の説明が行われました。初対面の方々が多い中、緊張した面持ちでの自己紹介に始まり、グループ毎に今後の役割分担を決めました。

初めはぎこちないスタートでしたが、時間が経つにつれて和気あいあいとなりました。今年度もあと半年となりましたが、前半同様協力し合って充実した活動を行いましょよう!!

### ◇子育てにテーマをもつ◇



母親委員会担当校長  
符津小学校校長 泉 栄美子

7月のある日、帰宅のため車を走らせ、左折した途端、正面に真っ赤な夕日が見え、久しく忘れていた光景に感激しました。その数時間後、今度は木場潟近くの建物から出ると、目の前に黄色の大きな見事な満月があり、思わず「すごい。きれい」と、感嘆の声をあげてしまいました。と同時に、「きれい」と感動する子どもが最近減ってきているのではないかと危惧する日となりました。そんな時、県PTA連合会の広報誌「PTAいしかわ」が届き、指導者研修会講師の春やすこ氏が講演された内容の要約が目にとまりました。

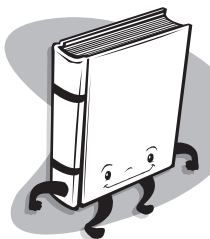
我が子が幼稚園の登園をいやがり、わけを聞いても何も答えてくれない。いろいろ悩んだ時、子育てにテーマをつくろうと思いつき、「よその子と比べない」「言いたいことは口に出して言う子にしよう」と決め、小学生になった時には、「自分で考えることのできる子に育てよう」と決めて、子育てされたそうです。そうすると、なんかすごく楽になれたそうです。

私の子どもはもう社会人になったけれど、今からでもまだ間に合う。いや、父、母になるからこそ、目の前の光景に「きれい!」と感動し、それを子に伝えることを忘れてはいけない。あいさつや「ありがとう」「大丈夫ですか」の心を子に伝えるのと同じように。

そこで、私もこれからの自分の子育てのテーマを作ろうと思ひ、早速「きれい!」と感動できる、感性豊かな大人に育てる」ことをテーマにしました。そのためにも、私自身もつと多くの「きれい!」を感じ、その感動した光景をどんな家族に語っていいこうと思ひます。もちろん、今学校で育てている大切な子ども達にも。

皆さんはご自分の子育てにどんなテーマをもたれますか? テーマをもつことで、確かに子育てが少し楽しくなってきました。

### 読んで みまっし♪



#### 「家庭教育手帳」

文部科学省

#### 「あたりまえだけど、とても大切なこと」

ロン・ウラーク/著 亀井よし子/訳  
出版社名/草思社

- ・人間の生き方、他社とのかかわり方、人生の楽しみ方に関する初めてのルール集。
- ・子供に充実して人生を送って欲しいと願うすべての人のためのルールブック!



- ・元々松陽中学校PTAの先輩たちが纏めたものを現在の文部科学省に推薦し今現在に至る。現在は冊子は発行されておらず文部科学省サイトに掲載されています。幼児編、小学低学年～中学年、小学高学年～中学生の3編成されているので一度ご覧下さい!

## 第2回 母親委員会

テーマ

～ これからの家庭教育 ～

講師

矢原 珠美子氏

### 家庭とは

- 「生活を共にする」ことの大きな意味
- 「父性的なもの」「母性的なもの」をバランスよく
- 「単純さ」の持つ豊かさ「モノ」と「こころ」
- There's no place like home. と感じさせているか
- 宮本三郎少年にとっての「家庭」と「学校」

### 生活リズム

- 早寝早起き朝ごはん
- 睡眠と朝食
  - A) 進学校の「風車の理論」
  - B) 進学校の「昼寝の時間」
- 「朝飯前」の意味 朝の頭と夜の頭
- 家族ルールを作ろう
  - 避難、ケイタイ、パソコン、テレビ、家事、等々
- 部活動と学業のリズム



### しつけ

- しつけの贈り物を「あたりまえだけどとても大切なこと」ロン・ウラーク
- 万引き、酒たばこ、薬物、援助交際、いじめ、などの危険性と犯罪性を教える
- 「もったいない」と「みっともない」
- もっと「斜めの関係」を

### 夢をはぐくむ

- 内向きになる日本の青少年 夢を持つと人は強くなる
- 親子で読もう イギリス式家庭読書のすすめ
- 伝記を読むことの意義
- 名物教師に共通のメソッド いかにも自学をさせるか
- 同じ子どもなんて一人もいない ほめて伸ばす家庭教育を

### … 講演会の感想 …

- 家庭でのそれぞれの役割について考えさせられました。
- There's no place like home. 安心して帰られる家庭にしたいと思いました。
- 今からでもうちでもできるな～ というヒントを沢山頂きました。
- ぜひ、この機会に我が家の家庭教育総点検をやってみたいと思います。

### 広報委員の紹介

今年度は私たちが担当します  
よろしくお願ひします。

森田 寧子  
角井紀代美

西尾万知子  
坂本ひとみ

# 「早寝早起き朝ごはん運動」について

特別委員会 委員長 齋藤 浩



「早寝早起き朝ごはん運動」も本年度で5年目を迎え、早寝早起きと朝ごはんを食べることの重要性に対して、子ども達と保護者の皆様の認識度も高まってきたと思います。本年度も昨年同様、「生活リズム」「食とたんぱく」「自主・自立」「規範・ルール」の4つの柱を基本に、夏休みの前半と後半の1週間に生活習慣チェックシートを付けてもらい、規則正しい生活リズムの確立や行動意識の改善に努めて頂きました。楽しさいっぱいの夏休み前半から、宿題の仕上げに追われる後半での、生活習慣の改善に少しでも繋がればと良いと思います。また、これまでの生活習慣チェックシートの集計結果から、今年度は「家族そろって食事をする」ことを重点項目に設定し、重視して取り組むたいと考えました。家族そろって食事がで

きた割合が大きく減少している近年、それぞれの家庭の事情によることも大きいですが、家庭でのコミュニケーションを考えると食卓という場は欠かすことが出来ません。まずは1食を家族そろって、という気持ちを大切に、忙しい中にも家族だんらんのひとときをもち、家族で協力して取り組んでいただきたいと思ひます。

今年も「早寝早起き朝ごはん運動小松市民大会」を開催いたします。夏休みに募集した「標語」「ポスター・絵画」「我が家の朝ごはん」各部門と「ラジ操操プラス1運動」をより活発に推進した地域功労者部門の表彰を今年も継続にてさせていただきます。そして、後半の講演会では、今夏全国高等学校選手権大会ベスト16に入る、甲子園での歴代通算最多勝利63勝目を挙げた智辯学園和歌山高等学校野球部監督の高嶋 仁氏を迎え、人づくりの観点からご講演いただく予定です。長年教育に携わ

## 「早寝早起き朝ごはん運動」小松市民大会

家族みんなでお越しください

日時 平成23年11月23日(水・祝日)  
◆開演/10:00~

場所 こまつ芸術劇場うらら  
大ホール

講師 高嶋 仁氏  
智弁学園和歌山高等学校 野球部監督

表彰 子どもたちから  
募集した作品や地域活動の表彰



今夏、全国高等学校選手権大会ベスト16進出の名監督をお迎えして、独自の夢づくり、人づくりについてご講演いただきます！

ご講演いただく予定です。長年教育に携わっている高嶋氏は、野球の技術的指導もさることながら、生徒への人間育成も徹底されてきたことで知られ、規則正しい生活リズムは、1日1日が大切であると考え。朝ごはん一つをとっても全力で取り組む姿勢が、日々人間の成長に結びつくといった独自の教育理念をもとにご講演いただきます。ご家族をお誘い合わせのうえ、たくさんのご来場を心よりお待ちしております。小松市立学校PTA連合会では、大人が意識を変え、子ども達のお手本となるように家庭から地域まで、小松市民全体で「早寝早起き朝ごはん運動」に取り組んで参りたいと思ひます。関係各位をはじめ多くの皆様方のご厚情に感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 東北地方太平洋沖地震災害義援金の募金活動のご報告

先般の東北地方太平洋沖地震において、小松市立学校PTA連合会では、組織を挙げて義援金募金活動に取り組みましたところ、皆様よりたくさんのお義援金を賜ることができました。ここに感謝いたしますとともに、義援金活動の結果をご報告いたします。

東北地方太平洋地震義援金 **¥609,580**

### 第1回会長研修会を終えて

総務委員会 委員長 中出 武志

第1回会長研修会が、6月16日(木)第1地区「コミュニケーション」にて行われました。今年度最初の研修会ということもあり、各単P会長の方々も緊張感の中、熱心に研修会に参加をいただきました。今回は、小松市地域ぐるみ学校支援推進事業実行委員会、小松市社会教育委員であり、元小松市立学校PTA連合会会長でもありました、本村与茂氏をお招きし、「地域ぐるみの学校支援について」をテーマに、これまでの豊富な経験を基にしたご講演をいただきました。

講演の中では、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整える事をねらいとして、教育のさらなる充実、地域の教育力のさらなる向上、生涯学習社会の実現をお話されました。

そして、学校支援活動の具体例として、ふれあい活動、伝統文化の指導や登下校中の見守り(わがまち防犯隊)などいろいろな事を例に挙げ、自分たちこそ地域のみならず、出来る事を、どんな形でも良いので参加し、知恵を出し合って、学校と地域が一体となって子供を育てる事が大切であるというご講演をいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



# 親子体験パスツアー

～越前そば打ち、かまぼこ作り体験～

平成23年8月21日(日)

豊かな心を育む委員会 委員長 林 紀代志

8月21日(日)親子体験バスツアーで親子67名の参加を得て福井の越前そばの里、安田かまぼこ道場へ行ってきました。豊かな心を育む委員会で普段、親子のコミュニケーションが少なくなっている中、一緒に体験出来る事を通して親子の絆を深めて頂くことを目的に企画しました。

越前そばの里そば道場では、そば打ちを体験しました。そば粉をこねるのに背伸びをして力いっぱい姿を後ろから支えているお母さんの光景がほほえましく思えました。器用にしている子、ちよつとあつちを見ると一生懸命手直しをしているお父さん、お母さん、普段ない慣れない姿があちらこちらで子どもに見られていました。工場見学を終えて打ちたてのそばを昼食として頂きました。太いめん、細いめん当然ながら堅いものや軟らかいものもありましたが、皆美味しく頂きました。

めがねミュージアムに寄り、博物館や展示販売場を見学しました。めがねのストラップ(キーホルダー)作りに挑戦する子もいて、皆上手にメガネフレームを磨き上げていました。短時間でオリジナルのストラップを完成させました。

安田蒲鉾では、かまぼこ、ちくわ、魚そうめん作りにチャレンジしました。最初はかまぼこ作りでみんな先生の所へ集まり見ていると、簡単に板の上に練り物がのり完成、自分達がやってみると難しく包丁も上手く使えず形を整えるのに苦労しました。次のちくわはコツを掴む前にぐちゃぐちゃになってしまいました、お父さん、お母さんも必死でした。最後は魚そうめん。お湯のなかに練り物を水鉄砲のように押し出し茹でて完成です。かまぼこの蒸し上がり、ちくわの焼き上がりを待つ間に出来立てを試食、あつあつの魚そうめんは特別美味しく感じました。かまぼこの製造工程の勉強や店内散策をしている間にかまぼこちくわが完成して家族へのお土産も出来ました。近場のコースだったので移動時間も短く、3か所の体験も時間内にまわれ、いろんな経験をすることが出来、充実した1日を過ごしました。



この体験活動を通して、日常少しの時間でもいいので、同じ土俵に立ち子どもと同じ目線で何かを作ったり遊んだりする事がとても大事だと改めて感じました。子どもとのふれあいの中で共に学び共に成長し続けていけたらと思います。最後に至らぬ点もありましたが参加者の方からの温かい感想を頂いたこと、そして関係者の方々、委員会のメンバーの皆さん本当に感謝しております。ありがとうございました。

## … 子どもの感想 …

初めに体験したそば作りは、私は初めてだったのでドキドキしました。手にたくさんの粉がくっつきました。次のめがね博物館では実はというひまでした。ストラップ作りの方がよかったかな?と思いました。かまぼこ、ちくわ作りはすごく難しかったので、ほとんどお父さんにしてもらっちゃいました。あと、お店でし食がいっぱい食べれたのがうれしかったです。今日1日すごく楽しかったです。作ったかまぼこ、ちくわを早く食べたいです。

そば作りでこねる時けっこう力がいりました。きる時、ふといのや細いのがあってむずかしかったです。かまぼこづくりでは、がまのほがむずかしかったです。魚そうめんがおいしかったです。次は、家族でいきたいです。

今日は、いろんな体験ができて楽しかったです。そばを作るのは、けっこうむずかしかったけど、なんとかそばを作って食べることができました。めがねミュージアムでは、めがねのことをくわしく知ることができました。かまぼこは不格好だけど、できたのかまぼこを食べることもできました。とても良い体験になったと思います。これからも続けてほしいです。

一番おもしろかったのは、そば打ちです。とくにおもしろかったのは、きることでした。ななめになったり、ふとくなったりしたけど、おいしかったのでよかったです。



## … 保護者の感想 …

初めは、越前そば打ちからめがねミュージアム、ちくわ作り体験と慌ただしく思いましたが、短時間(1日)で満足し、充実した体験が出来た1日だったなあと感じました。また日頃なかなか出来ないめがねのストラップ作りやちくわ作りなど作成までの手順を知れて良かったです。子供ともふれあいの場になれました。また機会があれば参加したいと思います。

親子でそば打ち、かまぼこ作りを体験出来てとても良い思い出が出来ました。6年生ということもあり子供中心となりましたが思った以上にちくわ作り等難しかったです。親子で参加する機会も減っていく中で楽しい時間を過ごす事が出来ました。

今日1日とても充実した時間を過ごさせて頂きました。家でもお手伝いはしてくれるのですが家ではつくらないような物を、私自身も初めての物もあり娘共々「ワクワク」させて頂きました。娘はチョット苦手だったかまぼこも自分で作ることで「おいしい」と満面の笑み。自分で作って本当に不思議が手が好きになっちゃってますね。今日をきっかけにいろんな事に「体験=チャレンジ」してほしいなあとします。

孫に連れられて、このバスツアーに参加させて頂きありがとうございます。そば打ちやかまぼこ作りに初体験。孫もとても喜んで一生懸命にしているとても良い体験が出来たと思います。小さい時から色々な体験が出来るとは子供にとって良い事だと思いますので次回参加させて頂きたいと思いました。

# 単Pだより

芦城小学校PTA

## 「広げよう笑顔の輪」 ベルマーク運動を通して



『つなげよう熱き思い  
育てよう豊かな心 広げよう笑顔の輪』

芦城小学校PTAは今年度この方針のもとで活動を進めています。その活動の一つ、ベルマーク運動は、子ども達がより良い環境で豊かな心を形成する一助になればと、長年受け継がれてきました。

近年、経済情勢の厳しい中、教育設備の充実を図ろうと、「自分達にできることはないか」と、ベルマーク運動に自主的に参加する保護者が増え、今年度『ベルマークボランティア』として発足しました。現在25名のメンバーがいます。小さなお子さんをあやしなながら作業するお母さんをはじめ、世代や学年の枠を越えて、和気あいあいと整理や集計作業に汗を流しています。手作りの回収箱も好評で、子ども達が興味を持って取り組んでくれるようになりました。

更に、地域の方にもベルマーク運動に参加して貰いたく、回覧板を使ってベルマーク回収のお知らせを出したところ、学校公開日には校下の方が次々とベルマークを届けて下さり、感謝すると共に地域のあたたかいつながりを心強く感じました。今回、東日本大震災で被災した学校や子ども達の支援に役立つようベルマーク預金の一部を「緊急友愛援助」として寄付致しました。今後もベルマーク運動を通し、あらゆる子ども達に笑顔の輪が広がるよう、自らも笑顔で活動を行きたいと思います。



### 小松市立学校PTA連合会の「自転車総合保険・こども総合保険」のご案内



- #### 当制度の特長
- ① 団体割引適用により割安です。
  - ② お子様のケガに加えて家族全員の賠償責任も補償
  - ③ 5万円以下の保険金の請求・支払は電話一本でOK
  - ④ 小松市の50%以上のお子様が利用しています。

#### ご加入者様の VOICE

加入していて、助かりました  
小松市在住 B様  
この度は、子供の楽器の破損事故で色々とお世話になり、ありがとうございました。壊れた楽器が相当な金額だったらどうしようと不安になってしまいましたが、保険に加入していたおかげで慌てずに済み、スムーズに事が運びました。学校に対してもご迷惑をお掛けしましたが、最小限ですむよう保険会社の方にも取組んで頂き、感謝しています。ありがとうございました。

### 編集後記

3月11日に東日本大震災が起こり、日本中が大変なことになりました。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

広報委員長 仁多見 英明

### 平成23年度 市P連組織

<b>顧問</b> 茗荷谷 豊 西出 稔		<b>会長</b> 鹿田 稔夫 (申小)		<b>監事</b> 山本 孝夫 (中海小) 中江 徹 (丸内中)		◎委員長 ○副委員長 ●校長
<b>副会長</b> 横山 康治 (向本折小)	<b>副会長</b> 寺山陽一郎 (波佐谷小) 石川興PTA連合会副会長	<b>副会長</b> 福島 知朗 (稚松小)	<b>副会長</b> 山内 勇 (今江小)	<b>副会長</b> 澤田 幹子 (丸内中) 嘉藤 志保 (松陽中) 出倉 史恵 (大丸小) 石川興PTA連合会副会長兼教育委員		<b>会計</b> 池田真理子 (丸内中)
<b>総務委員会</b> 谷 和泉 昭男 (国府小) ◎中出 敏彦 (申小校長) ◎木田 勝彦 (安宅小) ◎田中 学 (倉屋小)	<b>広報委員会</b> 清水 久宣 (笑翠小) ◎山本 孝夫 (中海小) ◎岩木 康彦 (日末小) ◎仁多見英明 (白津小)	<b>新世代委員会</b> 東 南藤 陽一 (御幸中) ◎松井 重樹 (安宅中) ◎村田 光弘 (坂津中) ◎金田 仁 (中海中)	<b>豊か心を育む委員会</b> ◎谷口 中江 大介 (苗代小) ◎池田 裕司 (宮城小) ◎林 紀代志 (鹿屋小) ◎土田 寛次 (鹿屋小)	<b>母親委員会</b> ◎川上 邦代 (津津小) ◎中山 恵美 (第一小) ◎浅蔵 一華 (第一小)	<b>特別委員会</b> ◎山内 陽一 (副委員長) ◎寺山陽一郎 (副委員長) ◎横山 康治 (副委員長) ◎井田 秀喜 (副委員長) ◎齋藤 浩 (倉城中)	
◎中出 敏彦 (申小校長)	◎寺 節郎 (丸小校長)	◎室山 勝信 (坂津中校長)	◎田中 哲臣 (中海小校長)	◎丸内 一華 (母愛会)	◎福島 知朗 (副委員長) ◎澤田 幹子 (副委員長) ◎嘉藤 志保 (副委員長) ◎出倉 史恵 (副委員長) ◎池田真理子 (副委員長)	